

# 沿革

## (1) 大町市消防団

- 昭和 23 年 3 月 自治体消防として大町、平村、常盤村、社村それぞれ消防団が発足する。
- 昭和 29 年 7 月 大町、平、常盤、社の一町三ヶ村が合併したことに伴い大町市消防団が定数 1,270 名で発足する。
- 昭和 30 年 2 月 日本消防協会優良消防団表彰旗を受賞する。
- 昭和 40 年 3 月 消防庁長官表彰（竿頭綬）を受賞する。
- 昭和 41 年 9 月 第 13 回県下消防団長大会が当市において開催される。
- 昭和 43 年 4 月 常備消防の充実に伴い定数を大幅に削減し、780 名となる。
- 昭和 48 年 11 月 当市消防団長が県消防協会長に就任する。
- 昭和 52 年 1 月 市民初参加の「消防出初式」を実施する。
- 昭和 55 年 4 月 定数を 626 名とする。
- 昭和 58 年 3 月 消防庁長官表彰旗を受賞する。
- 平成 5 年 4 月 消防団活性化対策検討委員会を設置する。
- 11 月 消防団活性化対策検討委員会答申書を作成し、団長に提出する。
- 平成 6 年 4 月 消防団活性化委員会を設置する。
- 平成 7 年 4 月 消防団活性化対策事業により、女性消防団員が入団する。
- 平成 8 年 4 月 長野県市町村災害時相互応援協定を締結する。  
梅雨前線豪雨災害に対する水防功績により全国水防管理団体連合会会長表彰を受賞する。
- 平成 9 年 4 月 蒲原沢土石流災害の功績により消防庁長官感謝状及び日本消防協会会長表彰を受賞する。
- 平成 18 年 1 月 大町市、八坂村、美麻村が合併したことに伴い、定数が 835 名となる。
- 平成 19 年 4 月 平成 18 年 7 月梅雨前線豪雨災害に対する水防功績により全国水防管理団体連合会会長表彰を受賞する。
- 平成 26 年 4 月 消防団員の減少に伴い定数を削減し、769 名となる。
- 平成 26 年 6 月 当市消防団長が県消防協会長に就任する。
- 平成 31 年 3 月 日本消防協会優良消防団表彰旗を受賞する。  
消防庁長官表彰（竿頭綬）を受賞する。

# 組織・機構

(R2. 4. 1現在)

(1) 大町市

